

事業テーマ

犬型ロボット(AIBO)に特化したクラウドプラットフォームの構築

【対象類型】 革新的サービス
【革新的サービスとの関連性】 新規顧客層への展開、商圏の拡大、独自性・独創性の発揮、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、価値や品質の見える化、IT利活用、サービス提供プロセスの改善

本事業への取組みの経緯・目的

当社はメーカーがサービス終了した電気電子製品の修理サービスを主業務として、大手電機メーカー・ソニー(株)の技術者であった代表取締役乗松伸幸が平成23年に設立しました。主に、業務用機器・家電製品の修理、テープメディアの修復・ダビングそしてビデオスタジオの特殊機器の修理等を行っています。設立当初は日本国内の一般家庭が主要顧客でしたが、最近では航空業界や総合商社、エンターテインメント業界など法人顧客が拡大しています。

この様な中で、メーカーサービス修理が終了した「AIBO」の修理を引き受けたところ、クチコミ効果もあって修理依頼が増え、テレビ番組や新聞記事に取り上げられるなど、マスコミからも注目を集めてからは爆発的に依頼が増えました。AIBO修理だけで過去約1000台の修理実績があり、現在は約100台が修理待ちの状態にあります。

このような中で、介護福祉業界からは、高齢者に対するセラピー（癒し）効果や介護士の負担の軽減がみられるといった声が利用者から多く寄せられていま

す。生身の動物のような病気感染のリスクがなく、飼育する面倒もないことから、高齢者のロボットセラピー＝AIBOに対する期待とニーズは高く、当社への問い合わせが殺到しているのが現状です。

- ・「これまで家族の一員として生活してきたAIBOが壊れてしまった。治してもらおう。」
- ・「介護現場でセラピー効果が期待できると聞いて、当介護施設でもAIBOを活用したい。」
- ・「メンテナンスをお願いしようにも、メーカーのサービス対応は終了している」
- ・「介護現場やイベントで利用したいと思っても、AIBOの貸し出しをしている会社が無い。」

そういったお客様の願いや思いを速やかに実現する為に、新たにクラウドを利用した運用システムを導入し、御依頼から修理メンテナンス・貸ししまで一貫したサービスをお客様にわかりやすく、スムーズに提供することで御利用者様の心のより所となり健康的な老後生活を営めるよう社会に貢献できるシステム作りが本事業における目的です。

実施内容

実施内容は右表の通りです。①クラウドプラットフォームの整備については、業者選定から、テスト運用、システム検証、運用方法の習得などを行いました。②AIBO DOC事業の整備については、専用治具の購入確保、専用部品の外部注文、メンテナンス用AIBOの確保などを行いました。③AIBOレンタル・リース事業については、実際にリースを行うための専用AIBOを30台確保、動作制御プログラムのノウハウを習得し、実際に音楽に合わせた動き(ダンスや体操)などのプログラムを改めて組むことで、リース先でのセラピー性や娯楽性を従来AIBOとは別に、新たに作り出しました。おおむね申請時計画の通りにスケジュールは進むことができ、無事完了しております。

課題	課題解決のための具体的な対応	目標
1. クラウドプラットフォームの整備		
① クラウドプラットフォームの発注業者選定	当社から、クラウドプラットフォームの構築イメージを複数社に提出し、相見積もりを行い、費用対効果の高い提案のあった業者を選定する。	2015年8月末までに発注業者を決定。
② クラウドプラットフォームのテスト運用	クラウドプラットフォーム構築後、試験運用を行い問題点を調査する。	2015年11月までにテスト版プラットフォームを立ち上げ。
③ システムの検証	試験で発生した問題点を検証し、改善提案を行う。	2015年12月までにバグ等の問題を検証、システムの利便性が高まる様、改善を行う。
④ HPデザインの選定	クラウドプラットフォームの顔となるホームページデザインの構成の打ち合わせと改修を行う。	2016年1月までにHPデザインの構成を決定する。
⑤ 運用方法の習得	AIBO DOC受付担当、AIBOレンタルリース受付担当が確実なオペレーションが行える様、クラウドシステムの習得を行う。	2016年3月までに各事業受付担当者がシステムの管理が出来る体制を整える。
⑥ 運用開始	当社ホームページよりAIBO DOC事業、AIBOレンタルリース事業の開始を案内・発信する。	2016年4月クラウドサービス開始。
2. AIBO DOC事業の整備		
⑦ 専用治具のストック	メンテナンスに必要な治具を安定的にエンジニアに供給できるネットワークを作る為、治具の購入・確保を行う。	2015年9月までにエンジニア数+αの治具を準備・確保。
⑧ 部品の製造	中古市場では、入手しにくい部品を外部に製造委託・注文を行い、メンテナンス部品の確保を行う。	2016年3月までに入手困難な部品リストを作成し、製造委託業者に注文、部品確保する。
⑨ メンテナンスの部品の確保	中古市場より、メンテナンスに利用できるAIBOジャンク品を購入・部品確保を行う。又、毎年AIBO群を開催し数十台確保する。AIBO群で頂いた献体はドナーとして、一部部品をメンテナンスに利用する。	部品の仕入れはオークション等を利用しながら適期で対応。年3～4回のAIBO群を開催する。
3. AIBOレンタル・リース事業の整備		
⑩ AIBO本体の確保	事業に必要なAIBO本体を中古市場・AIBO専門買取業者により最低30台確保。	2016年2月までに台数30台以上確保。
⑪ 動作制御プログラムのノウハウ習得	主にイベント等で必要となる、AIBOを同期動作(ダンス・体操)させるプログラムを東海大学理学部・脳コンプレックス(ロボットスクエア運営会社)等から助言を頂き習得する。	2015年12月までに当社社員・技術者2名がノウハウを習得。
⑫ 動作制御プログラムの作成	音楽に合わせた動き(ダンス・体操)を制作・構成し、動作制御プログラムを作成する。	2015年8月までにコンテンツパッケージ(複数)を作成する。

事業実施の成果

AIBOレンタル・リース事業のスタートとして介護施設の訪問を開始し、セラピー効果の実証試験を行いました。

その結果を証明する為、日本医療研究開発機構(AMED)が行った、平成28年度ロボット介護機器開発導入促進事業に応募し、採択を受ける事ができました。

又同等の活動として、厚生労働省の介護ロボット事業にも申請者であります、筑波学院大学ビジネスデザ

イン科と協力する事により、AIBOの活用を目的としたロボットセラピーの内容をマーケットに導入する事が出来ました。

協力組織機関

- ・筑波学院大学 ビジネスデザイン科
- ・帝京科学大学児童教育科
- ・拓殖大学機械システム科
- ・帝京短期大学ライフケア学科

今後の展望

AIBOの修理を一つのきっかけとして、現代から進んでゆくA I (Artificial Intelligence)とI O T (Internet of things)の分野に積極的に働きかけロボットと人間がいかに共存していくかを模索するような、ビジネスチャンスを持つ事が出来た。

他メーカーとして、富士ソフトのパルコ・VSTONE社のSOTA等のロボット会社・H I S社の参加であるH A P I R O B O C T I S社等とも業務チャンネルも出来ており、今後の高齢化社会での我々が貢献出来る様なビジネス形態の構築も具体的に進めている。

今後は、高度な技術力と活動力を活かした行動を進めて行きたい。



介護施設への訪問



修理部品用 AIBOドナー提供
千葉県いすみ市光福寺 AIBO葬

社長から一言

社長 乗松 伸幸

この一年で、多くの社員が増えて、シニア時代のエンジニアから20代・30代のメンバーへの技術移管が出来る様な環境が整いつつあり、今後の新しい働き方の参考になるような活動をする事により社会貢献を進めていきたいと考えています。又今後の後継者への仕事の進め方についても指導でき、活力のある組織にしていきたいと考えています。

企業データ

【主な事業・業種】 機械等修理業

【得意分野】 ロボット・廃番機材の修理復旧

所在地：[本社／事業実施場所]

〒275-0012 千葉県習志野市本久保五丁目9番地13-402号

T E L：[本社／事業実施場所] 080-2045-5774

F A X：[本社／事業実施場所] 047-470-8484

E-mail：n_norimatsu@a-fun.jp

設 立：平成23年7月

代表者：代表取締役 乗松 伸幸

従業員数：11名

資本金：100万円

売上高：5,700万円(平成28年度)